

## ■スピーカー：吉田寮自治会・留学生

私は約一年前に吉田寮に引っ越してきました。なぜ吉田寮に引っ越そうと思ったのか、と聞く人がいます。というのも、彼らは吉田寮が汚くて暮らしていくのに適さないと考えているからです。吉田寮での暮らしがどうやって実際に私の生活の質を向上させたか、それを皆さんに説明したいと思います。

日本に来て最初、私はみささぎ寮に入りました。しかし、みささぎ寮は6ヶ月しかいられないので、その後自身のアパートに引っ越しました。生活はとても難しいものになりました。寮では多くの友人がいて、常に夕食会やパーティーがたまたま起こったりするなど、容易に人と出会うことが出来ました。

しかし、アパートに引っ越してからというもの、私はすっかり孤立してしまい、冬の間外に出ることはほとんどありませんでした。

日本の社会というのは厳格で孤独なものです。暮らしていくことにつらさを感じたので、私は寮を探し始めました。吉田寮を訪れて、私は好感を持ちました。たくさんの人達が話しかけてくれるので、友達が簡単に出来ました。

また、吉田寮は非常に創造的で、多くの人が自分自身を表現していて、あらゆるところに芸術があり、みんな考えを持っていると感じました。重荷が軽くなって自由になった気がして、良い友人を作り、このコミュニティーの一部になれると感じました。

吉田寮は学生生活の創造的なエネルギーと青春時代の象徴です。京都のその他の場所と異なり、吉田寮はまったく退屈でなく、興味深くてディープな場所なのです。

私には京都大学在学中に鬱になって引きこもりになってしまった外国人あるいは日本人の友人が多くいます。何人かは勉強を諦め、自分たちの国に帰ってしまいました。一人は自殺してしまいました。どうやら、自殺が原因で友人を失ってしまったという友達が他にもいるようでした。私もまた大変に落ち込んで、困難な時を過ごしました。

それで、京都大学の学生の生活の質に関して、何が問題なのでしょうか。問題はとてもたくさんあって、そしておそらくこの大学にはその問題すべて、あるいはその原因について話す余裕が無いのでしょうか。